

2021年11月15日

【新生児蘇生法委員会からガイドラインに関するお知らせ】

ILCOR(国際蘇生協議会)より2021年度の新生児蘇生ガイドラインのUpdateが出ましたので、情報を共有します。下記のリンクをご参照ください。

<https://www.ahajournals.org/doi/abs/10.1161/CIR.0000000000001017>

ILCORでは、Continuous evidence evaluation (CEE)という方法で、現在、5年ごとの大改訂と並行して、毎年新しいトピックや、ホットトピックに関して、毎年ガイドラインの改訂を行っています。

2021年は、

- ・ 出生時の臍帯管理(結紮遅延とミルキング)、
  - ・ 陽圧換気デバイス、
  - ・ 新生児蘇生における家族の立会い、
- に関するUpdateがされております。

Neonatal Life Support

- ・ Cord management at birth for preterm infants (NLS 787: SysRev)
- ・ Cord management at birth for term and late preterm infants (NLS 1551: SysRev)
- ・ Devices for administering positive-pressure ventilation (PPV) at birth (NLS 870: SysRev)
- ・ Family presence during neonatal resuscitation (NLS 1590: SysRev)

日本の新生児蘇生法(NCPR)としては、現在5年ごとの改訂を予定しており、次は2025年版で公表いたしますので、今回の論文をもとに今すぐに日本の新生児蘇生の方法を変える必要はありません。特に、臍帯管理、陽圧換気デバイスに関しては、日本のデータや実情を考慮して、NCPRに組み込まれますので、このままILCORの推奨が日本版に反映されるとは限りませんので、その点ご注意ください。

ILCORの最新情報は、次の2025年の改訂時にどのような推奨になっていくかの方向性の参考となります。また、最先端の情報のまとめが掲載されていますので、皆様の日常診療の参考にいただければと思います。

引き続き何卒よろしく願いいたします。